

## 令和6年度 第1回 伊賀市文化財保護審議会 会議録

日時 令和6年7月22日（月）午後1時から午後3時45分まで  
場所 伊賀市役所4階405会議室  
出席委員 滝井利彰会長 四辻秀紀副会長 福田良彦委員 佐々木聖佳委員  
穂積裕昌委員 平山大輔委員  
欠席委員 瀧川和也委員 長村祥知委員  
事務局 川部事務局長 東次長 笠井課長 福島主幹 西口 清山  
傍聴 0人

### 1. 開会の挨拶

川部事務局長

### 2. 委員の紹介

事務局から紹介

### 3. 報告事項

#### (1) 文化財保護関係事業について

《資料1により、各担当から説明》

《委員からの意見等は特になし》

#### (2) 埋蔵文化財保護関係事業について

《資料1により、担当から説明》

本調査0件、試掘調査0件、立会調査14件について報告。調査が必要となりうる協議中の案件2件について報告。

《委員からの意見等については以下のとおり》

委員：埋蔵文化財について、特に分布調査が古い遺跡の位置・範囲が実際と異なっているものが多い。特に中世城館跡について、新しい調査をもとにして早急に修正していく必要がある。

事務局：遺跡地図に未登録の中世城館跡について現地を確認するなど、分布調査を始めている。また、中世城館跡に限らず、遺跡台帳に混乱がみられる部分があるため整理を進めている。

#### (3) 指定文化財の現状変更等について

《資料1により、各担当から説明》

#### ①国指定文化財

有形（3件）、史跡名勝（18件）、特別天然記念物（14件）を報告

《委員からの意見等については以下のとおり》

委員：高倉神社本殿ほか2棟の檜皮屋根に繁茂する草木が年々生長しており、雨漏りの危険がある。春日社の千木も腐敗・脱落したままであり、早急に対応する必要がある。

事務局：草木の繁茂は日当たりの悪さが原因であり、令和2年度には周辺木の伐採を行っている。文化庁調査官からの現地指導では、野地板にはまだ影響が及んでいないとのことである。3棟の葺き替えにかかる経費は非常に高額になる見通しで、地元には費用を準備するようお願いはしてあるが、協議を進めていく必要があると思っている。

委員：繁茂している木の伐採だけでも効果はある。早急に対応願いたい。

委員：上野城跡での崩落について、最近是他府県の城跡でも同様の被害を聞く。

事務局：復旧に向け、景観及び安全に配慮した工法を検討している。

## ②三重県指定文化財

有形文化財（1件）、史跡・名勝（6件）を報告。

《委員からの意見等は特になし》

## ③伊賀市指定文化財

有形文化財（7件）、史跡・名勝（2件）及び市指定建造物伊賀文化産業城の懸魚毀損について報告。

《委員からの意見等については以下のとおり》

委員：現場を確認したが、懸魚が脱落した箇所は遠目でも注意すれば分かる。部材には漆喰だけでなくモルタル状の材も使われているが、当時では一般的な工法だったのか不明。修復工事は最上階まで足場を組む必要があるかも知れないが、出来るだけ簡便な方法を検討されたい。

委員：脱落した懸魚は建築当初のものであり、他の部分の工法を知る資料にもなるためしっかり記録を残す必要がある。

委員：モルタル状の材はアスベストを含んでいないか。

事務局：アスベスト含有の確認は専門業者による調査が必要だが、断熱材としての使用が必要な箇所ではないため可能性は低い。

## （4）指定文化財等の調査について

有形文化財（歴史資料以外）（24件）、民俗文化財（9件）、史跡・名勝（10件）、天然記念物（3件）、歴史資料（16件）を報告

《委員からの意見等については以下のとおり》

委員：民具資料の取扱いはどのようにしているか。

事務局：これまでほとんど未整理であったが、今年度から仮目録を作成しながら整理を始めているところである。

委員：敢国神社の獅子舞の用具調査は具体的にどのような用具を。

事務局：新調したいという要望のあった太鼓台である。

委員：旧上野市庁舎改修の現状はどうか。

事務局：本格的な工事の準備として、配管や建具の取り外し等を行っている段階である。また、専門家による視察を受けた際には、適正な手順を踏みながら改修事業を進めているという評価を受けている。